取扱説明書 / 保証書付
MCE-3533

この度はお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用下さい。お読みになった後は大切に保管して下さい。

もくじ

安全上のご注意

警 告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注 意	誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。

※１傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない、感電や思わぬけが等をさします。
※２物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。

禁 止	禁止(してはいけないこと)を示します。	強 制	強制 (必ずすること) を示します。

⚠ 警　告	
分解禁止	・絶対に分解・修理・改造は行わない。 ※感電や思わぬけがが、製品の故障に繋がる恐れがあります。
禁 止	・子供等取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使用しない。 ※思わぬけがの原因となります。 ・コードやアダプタを破損するようなことはしない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。 ・コードやアダプタが痛んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない。 ※感電・ショート・火災の原因となります。
ぬれ手禁止	・濡れた手でアダプタの抜き差しはしない。※感電の原因となります。 ・濡れた手で電池の交換はしない。※感電・製品の故障の原因となります。
水ぬれ禁止	・本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ※感電・ショート・故障の原因となります。
強 制	・針・ボビンのセットなど、縫製以外の作業を行う際は作業前に必ずスイッチが「OFF」になっていることを確認する。電池で使用している場合は電池を抜いてから作業をし、アダプタで使用している場合は必ず本体からコードを外した状態で作業を行う。※電源が入っていると、スイッチに触れて電源が「ON」になった場合に動きだし大変危険です。

⚠ 警　告

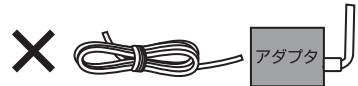
強制

・アダプタは根元まで確実に差し込む。　・必ず交流 100V で使用する。

・アダプタのほこり等は定期的にとる。

・コードの取り扱いは、必ず下記の内容を守る。

●コードをアダプタに巻き付けない。　●コードをドア等で挟まない。
●コードの上に物を置かない。　●コードを過度に曲げない。
●コードをきつく束ねたり結んだりしない。　●コードをねじらない。
●コードを引っぱってプラグを抜かない。必ずアダプタを持って抜いて下さい。

コードはゆったりと束ね、アダプタから出るコードは無理なく延ばす。

コードをきつく巻いたり結んだりしない。アダプタから出るコードを過度に曲げたりしない。

※コードの誤った取り扱いは断線火災事故に繋がります。上記の内容を守り、正しくご使用下さい。

⚠ 注　意

禁止

・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。　・破損したら使用しない。
・子供の手の届く所に保管しない。　・たこ足配線はしない。
・不安定なところで使用しない。　・はずみ車を無理に回さない。
・フットペダルスイッチの上に物を置かない。　・曲がった針は使用しない。
・乾電池とアダプタは併用しない。　・布を無理にひっぱらない。
・乾電池の代用として充電式電池を使用しない。
・新しい電池と古い電池や種類の異なる電池は併用しない。
・本体を使用する際はボビンカバーを閉じる。
・本製品の操作中は手元から目を離さない。※思わぬけがの原因となります。

強制

・使用しない時は、電池を抜いて保管する。

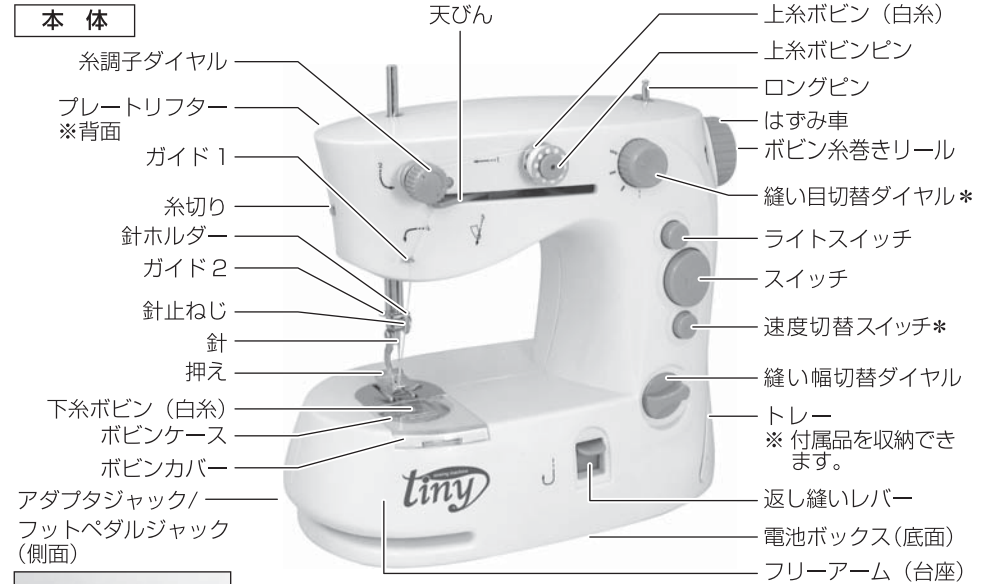
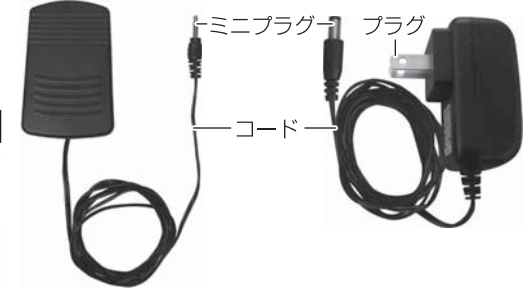
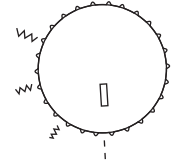
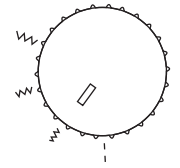
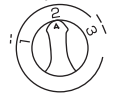
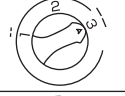
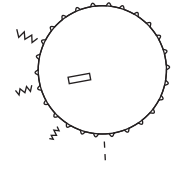
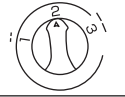
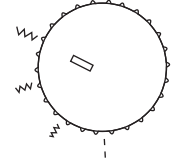
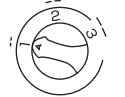
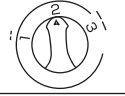
プラグを抜く

・使用時以外はプラグをコンセントから抜く。
・移動させる場合は、必ずアダプタをコンセントから抜き、本体からアダプタ・フットペダルスイッチのミニプラグを抜く。

使用上のご注意

この内容を守らないと、製品の動作に問題が生じたり、製品本体の故障や劣化に繋がります。

●使用できる布の厚さの範囲は約0.5～1.5mmです。厚さの範囲をお守りになりご使用下さい。
　※本製品で厚手の生地（デニムや革等）は縫わないで下さい。針が折れたり曲がったりする恐れがあります。
●高温になる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所への設置・保管・放置はしないで下さい。
●落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。
●本体の上に物を置かないで下さい。
●お手入れの際に、シンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤は使用しないで下さい。
●本製品は一般家庭用です。業務用でのご使用はおやめ下さい。

各部名称

＊縫い目切替ダイヤルと縫い幅

縫い目切替ダイヤル：縫い目を切り替えます。縫い目は4種類あります。
縫い幅切替ダイヤル：縫い目の幅を切替えます。ダイヤルの1～3にかけて縫い幅は広くなります。

縫い目切替ダイヤル	縫い幅切替ダイヤル	縫い目
直線縫い		
ジグザグ縫い（小）		
ジグザグ縫い（中）		
ジグザグ縫い（大）		

初めてご使用になる前に

●本製品には布地があらかじめセットされています。これは工場出荷時に品質保全の為行った検品時のものです。ご使用の際は布地を取り外して下さい。
（布地の取り外し方はP.12【布地を外す】参照）

使用方法

※針・ボビンのセットなど、縫製以外の作業を行う際は作業前に必ずスイッチが「OFF」になっていることを確認して下さい。電池で使用している場合は電池を抜いてから作業をし、アダプタで使用している場合は必ず本体からミニプラグを外した状態で作業を行って下さい。電源が入っていると、スイッチに触れて電源が「ON」になった場合に動きだし大変危険です。

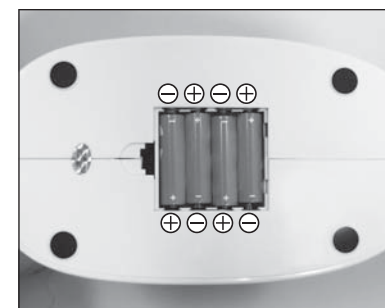
電源を準備する

■本製品は付属のアダプタ、または乾電池（別売）で使用します。

【アダプタで使用する】

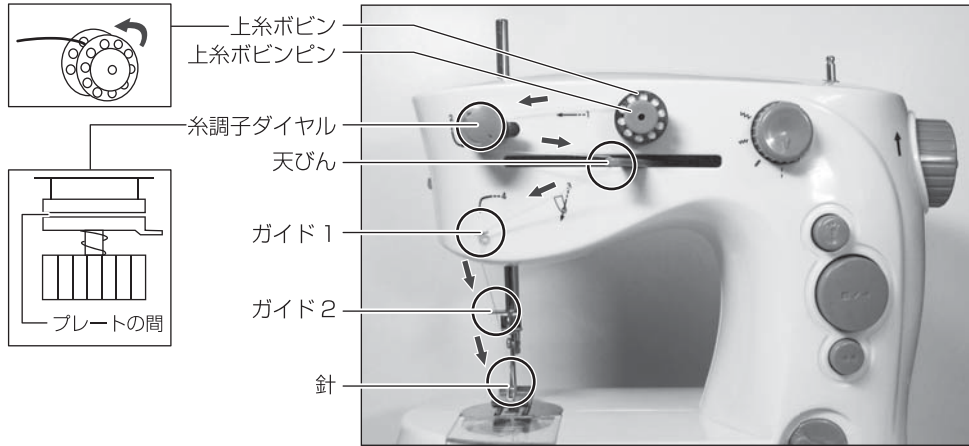
アダプタのプラグを本体の背面右側にあるアダプタジャックに差し込みます。
※左側のジャックはフットペダルジャックなので絶対に差し込まないで下さい。

【乾電池（別売）で使用する】

ミシン本体底面の電池ボックスのフタを開け、新しい単3形アルカリ乾電池４本（別売）を＋－の正しい向きにセットし、フタを閉めます。

上糸のセッティング

1. 上糸ボビンピンを取り外します。（下図.【上糸ボビンの取り外し方】参照）

2. 反時計回りに糸が出るようにボビンをセットし、上糸ボビンピンを取り付けます。

3. ボビンから出た糸は〈糸調子ダイヤル〉→〈天びん〉→〈ガイド 1〉→〈ガイド 2〉の順で通し、最後に〈針〉に通してセットします。
   ※糸調子ダイヤルに通す際は本体とダイヤルの間にあるプレートの間にはさんで下さい。
   ※ガイドに糸を通す際は、糸が絡んだりねじれない様にご注意下さい。糸が絡まっていたりねじれているとミシンが正しく稼働しません。（下図.【針に糸を通す際は】参照）

【上糸ボビンの取り外し方】

上糸ボビンを止めている上糸ボビンピンが外れにくい場合は、ボビンと上糸ボビンピン頭部との間に硬貨等を差し込み、ネジを回す様に硬貨をひねると、上糸ボビンピンが手前に外れます。
※バネが飛び出る場合がありますのでご注意下さい。

【針に糸を通す際は】

ガイドに糸を通す際は、糸が絡んだりねじれたりしない様にご注意下さい。糸が絡まっていたりねじれているとミシンが正しく稼働しません。
※糸は手前から後ろへ通して下さい。

4. 針に通した糸は、押さえの下を通し、針穴からミシン背面に向かって約10cm程度に伸ばしておきます。

下糸のセッティング

1. 上糸のセッティングを終了し、針が一番高い所に上がっている事を確認します。
   (針が上がっていない場合は、はずみ車を回して高い位置へ移動させます。)

2. ボビンカバーを手前にスライドして外し、ボビンケースに下糸ボビンを入れ、糸をボビンケースの外に出します。（図1）
   ※ボビンは反時計回りに糸が出るようにセットします。

3. 針に通した上糸の端を左手で軽く持ち、右手ではずみ車を時計回り方向へゆっくりと回します。

4. そのままはずみ車を時計回り方向へまわし続けると上糸が下糸を絡め取り、針が通る穴から下糸が出てきます。

5. 下糸が上へ出て来たことを確認したら、布などの薄い物を押えの手前から向こう側へ通し下糸を完全に上へ出します。（図2）

6. 下糸と上糸を一緒にミシン背面へ引っ張ります。
   ※糸は押さえの下に通して下さい。(図3)

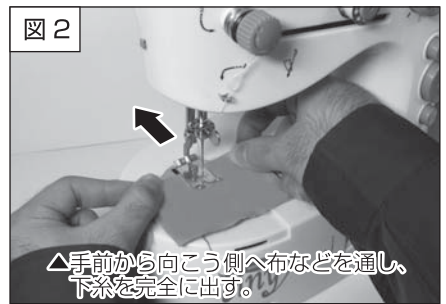
7. ボビンカバーを取り付けます。

図 1

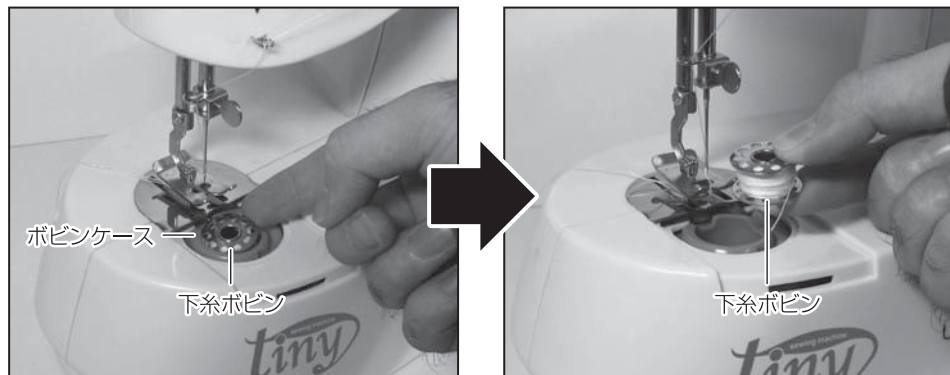
図 2

△手前から向こう側へ布などを通し、下糸を完全に出す。

図 3

△下糸と上糸を一緒にミシン背面へ引っ張る。

【下糸ボビンの取り外し方】

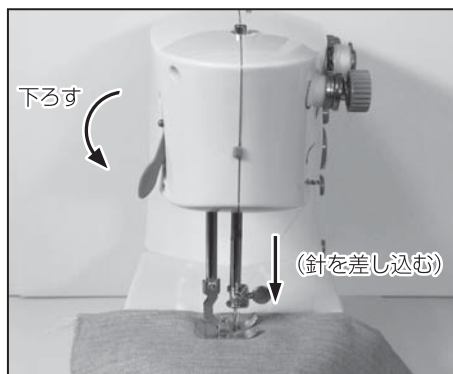
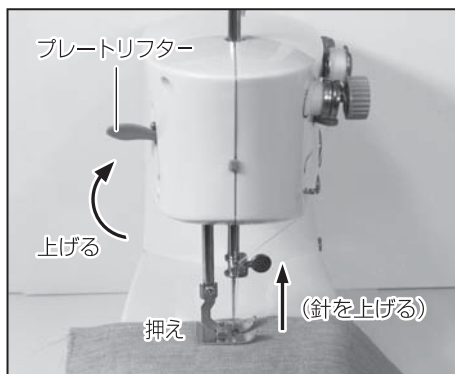
1. ボビンカバーをスライドして取り外します。

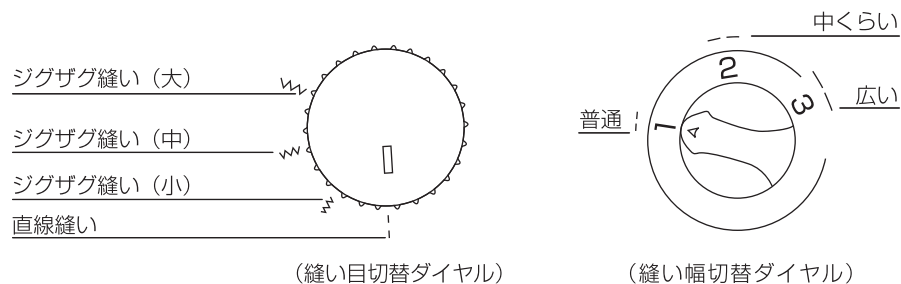
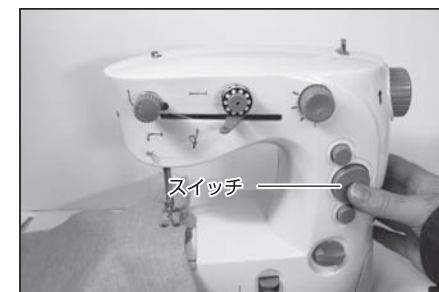
2. 下糸ボビンを指で持ち上げ、取り出します。

布地を縫う

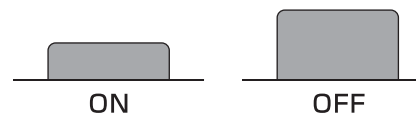
※使用できる布の厚さの範囲は約0.5～1.5mmです。厚さの範囲をお守りになりご使用下さい。また、本製品で厚手の生地（デニムや革等）は縫わないで下さい。針が折れたり曲がったりする恐れがあります。
※稼動中に縫い目・速度を切替えないで下さい。
※初めてご使用になる際は、本体のスピードは通常の状態でご使用下さい。スピードに慣れてきたら速度を上げてご使用下さい。

1. はずみ車を手で回し、針を一番高い位置で止めます。

2. 本体裏のプレートリフターを上げて押えを上げ、布地をセットします。

3. プレートリフターを下げて押えを降ろし、右手ではずみ車を時計回りの方向に回して針を布地に差し込みます。

4. 縫い目切替ダイヤルと縫い幅切替ダイヤルを回して縫い幅を選択します。
（P5.【縫い目切替ダイヤルと縫い幅】参照）

（縫い目切替ダイヤル）　（縫い幅切替ダイヤル）

5. スイッチを押すと「ON」になり、ミシンが稼動します。もう一度スイッチを押すと「OFF」になりミシンが止まります。
※フットペダルスイッチを使用する際はP下図.【フットペダルスイッチを使用する】参照

【速度切替スイッチ / ライトスイッチを使用する】

●速度切替スイッチとライトスイッチは必要に応じてご使用下さい。
※稼動中に切替ないで下さい。

【フットペダルスイッチを使用する】

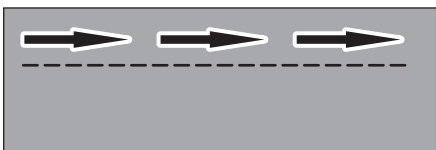
●付属のフットペダルスイッチのミニプラグを本体の背面左側にあるフットペダルジャックに差し込みます。付属のフットペダルスイッチは踏んでいる時だけ「ON」になり、足を離すと「OFF」になります。
※フットペダルスイッチのミニプラグは、必ず左側のフットペダルジャックに差し込んで下さい。

【フリーアームを使用する】

●袖付けや裾上げの時に使用します。フリーアームの凹みに生地を入れて使用すると衣類の袖やパンツの裾など、筒上のものが縫いやすくなります。

【返し縫いを使用する】

●縫い目の端をしっかりと止め、ほつれにくくする為に使用します。
スイッチを押している時に本体正面にあるレバーを下げると返し縫いがはじまります。
※レバーはしっかりと下まで下げて下さい。
※スイッチを押していない時にレバーを下げても稼動しません。

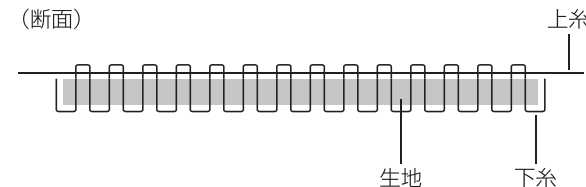
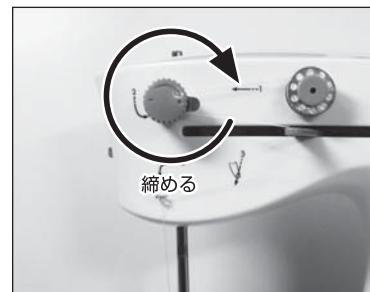
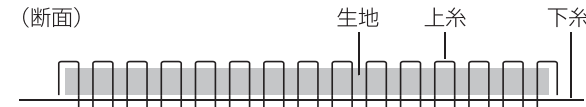
縫っている状態

レバーを下げた状態

布地を外す

1. スイッチを「OFF」にしてミシンを止めます。
2. 右手ではずみ車を回し針を一番高い位置で止めます。プレートリフターを上げて押えを上げ、布地を針の後方に引き出します。
※ 布地が引き出しにくい場合は、無理に布地を引っ張らずにはずみ車を小刻みに2～3度回したり戻したりすると糸が緩み、布地が引き出しやすくなります。

ステッチの調節

● 上糸が一直線になってしまうなど、上糸の調子が強すぎる場合は糸調子ダイヤルを反時計回りにまわして緩め、上糸が軽く出る様に調節します。

[上糸が強く出ている状態]

● 下糸が一直線になってしまうなど、上糸の調子が弱すぎる場合は糸調子ダイヤルを時計回りにまわして締め、上糸の調節をします。

[上糸が弱く出ている状態]

※糸調子ダイヤルは締めすぎるとミシンが正しく稼働しません。適度に緩めてご使用下さい。

ミシン糸のセットのしかた

1. ミシン上部のロングピンをつまみ上げます。

2. ミシン糸をロングピンに差し込みます。
※市販のミシン糸でもご使用頂けます。

3. 上糸ボビンと同じ様にミシン糸を〈糸調子ダイヤル〉→〈天びん〉→〈ガイド1〉→〈ガイド2〉の順で通し、最後に〈針〉に通してセットします。
※ガイドに糸を通す際は、糸が絡んだりねじれない様にご注意下さい。糸が絡まっていたりねじれているとミシンが正しく稼働しません。（P7.【針に糸を通す際は】参照）

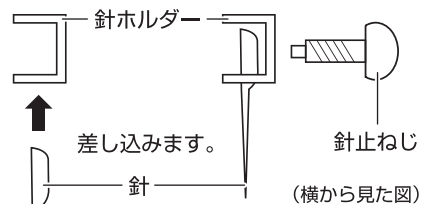
針の交換方法

1. 電池またはアダプタを本体から取り外し、電源が入らない状態にします。

2. はずみ車を手で回し、針を一番高い所で止めます。

3. 針止ねじを緩め、古い針を取り外します。

4. 新しい針を針ホルダーの一番奥まで差し込みます。針上部の凸面が針止ねじに接触する方向でセットをします。
※針の方向がずれているとミシンが正しく稼働しません。必ず正しい方向で取り付けて下さい。
※針は奥までしっかりと差し込み、針止ねじをしっかりと締めて下さい。針の取り付けが緩いとミシンを使用している間に針が外れたり折れたりする恐れがあり大変危険です。

（横から見た図）

ミシン糸からボビンへの巻き取り方法

※ミシン糸からボビンへ糸を巻き取る時は必ず下糸ボビンを取り外し、上糸ボビンの糸を上糸ボビンに巻き取り、本体に糸がセットされていない状態にして行って下さい。

1. ボビン糸巻きリールをつまんで時計回りに回してリールを引き出します。（図 1）

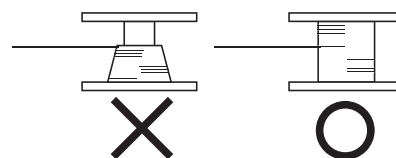
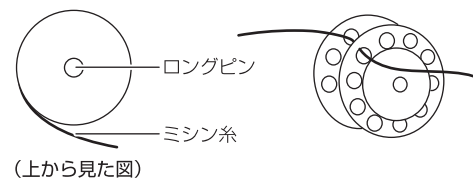
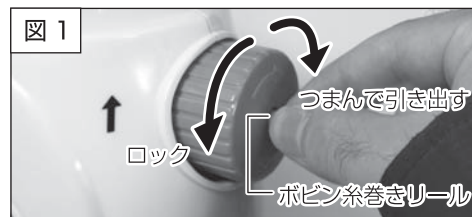
2. 引き出したボビン糸巻きリールを反時計回りに回してリールをロックします。（図 1）
※ロックするとリールは押せなくなります。

3. ロックしたボビン糸巻きリールに空のボビンを取り付けます。（図 2）

4. ロングピンにミシン糸を取り付け、ミシン糸を空ボビンの穴に通します。（図 3）
※市販のミシン糸でもご利用頂けます。
※ミシン糸は反時計回りに回るように取り付けて下さい。

（上から見た図）

5. 空ボビンの穴から出たミシン糸を押さえながらスイッチを「ON」にし、空ボビンに 5 回程巻き付いたら手を離し巻き取ります。(図4)
※糸を巻き取る際に指で送り糸をガイドし、空ボビンの糸が平になるように巻き取って下さい。（図 5）

6. 糸切りで糸を切り、巻き取って終了です。

故障かなと思ったら

症状	対処法
①下糸をすくわない。	ボビンから引き出す糸が短いと絡みにくくなります。約10 cm 程糸を引き出した状態でセットして下さい。
②下糸のボビンが回らない。	ボビンがセットされているミシン内側の部品とうまくかみ合っていません。 はずみ車を少しずつ回して調整をして下さい。
③上糸が一直線になってしまい、うまく縫えない。	糸調子ダイヤルがきつくなっていませんか？ 糸をきつく締め過ぎると上糸が一直線になってしまいうまく縫えません。糸調子ダイヤルを少しずつ緩めて下さい。
	糸に絡まりはありませんか？ きれいにほどいてからセットし直して下さい。
④布を送らない。	押えを下ろしていますか？ 押えが下りていないと正しく布を送る事ができません。
⑤縫い目がとぶ。布にしわがよる。	上糸の調子を締め過ぎています。糸調子ダイヤルを回して、糸を緩めて下さい。
⑥針が折れる。	送られた布を強く引っぱると、針に負担がかかり破損の原因になります。手は軽く添える程度にして下さい。
⑦上糸が切れる。	上糸の掛け方を間違えていたり、糸調子を締め過ぎていませんか？再度調整をやり直して下さい。
⑧下糸が切れる。	下糸ボビンの通し方はあっていますか？ 糸が出る方向に気を付け、下糸ボビンをきちんとボビンケースにセットし直して下さい。

Memo

仕　様

寸　法	本体：約W25×D14×H26cm　アダプタコード：約1.8m　フットペダルコード：約1.4m		
重　量	約1.3kg	定格周波数	50/60Hz
材　質	ABS樹脂　ステンレス　銅	定格消費電力	15W
電源方式	交流式・乾電池式：	アダプタ	DC6V 1A（付属）
	単3形アルカリ乾電池4本（別売）	定格容量	12VA
定格電圧	100V	布の使用厚さ範囲	約0.5～1.5mm

※商品の仕様及び外観等は、予告なく変更する事があります。